

HSK ネット (汉语水平考試 Hanyu Shuiping Kaoshi (IBT)) 試験について

—中国語能力検定試験

中原 裕貴

Chinese Proficiency Test

Yutaka Nakahara

前 書

HSK ネット試験とは

HSK は中国語能力検定試験 (汉语水平考試 Hanyu Shuiping Kaoshi) の略称である。中国国家漢語水平考試委員会が実施し、中国語を母国語としない者、中国語を母語としない華僑 (中国国内少数民族を含む) の中国語能力を検定するための国レベルの試験であり、受験生の生活・勉強や仕事での中国語を使用するコミュニケーション力を中心的に考查するものである。

HSK 試験は毎年中国国内外で定期的に実施され、試験成績に関して、中国「国家漢弁」からそのレベルに対応する《新汉语水平考試成績報告書》が取得できる。

ここでは HSK ネット試験の歴史、現状、HSK ネット試験の級と級別の試験対象、検定内容、試験システム及び模擬試験システムについて詳しく述べ、最後に中国語検定試験と HSK ネット試験の相違について説明する。

一. HSK 試験の歴史と現状

HSK は 1984 年に北京語言学院 (今の北京語言大学) で開発され、1986 年に初めて中国語能力検定試験システムが中国国内で稼働し、1989 年正式に中国語能力検定試験センターが設立された。1991 年、シンガポール、オーストラリア、日本等で試験が実施され、1992 年に国レベルの検定試験に認められている。その時期から、中国教育部 (中国の文部科学省) は、国家漢弁 (中国国家汉语国际推广领导小组办公室の略称) を設立して、当機構が直接に HSK を管轄し、HSK 認定書 (成績報告書) も発行する。

HSK の当初の試験は毎年一回のみ実施され、試験実施会場は北京語言学院に限られたが、現在は中国国内だけではなく、世界各国で実施されている。

HSK 試験が、中国国外で増加しつつある中国語の学習者の中国語検定試験への要望に応えられるよう、2009 年 11 月から「新中國語能力検定試験」(新 HSK) システムを導入し、同時に筆記試験がインターネットを利用するネット (IBT) 試験に移行した。

新 HSK ネット試験の内容はペーパー試験と全く同様であるが、その利点はインターネットを利

用でき、年間試験の回数が4回から8回(2013年)、さらに2014年から年間12回までに増加し、中国語の学習者がHSKを受けやすくなる環境が整った。

二. HSKネット試験の級

HSKネット試験の級の種類としては6級・5級・4級・3級・2級・1級が設定されており、六級が最高のランクである。この節では、大学受験生の一番多い級の3級と4級について、詳しく説明し、他の級の説明を割愛する。

1. HSK試験3級

HSK3級は中国語の応用力を確かめるものであり、「国际汉语能力标准」3級、「ヨーロッパ共通参考標準(CEF)」B1級のレベルに相当する。HSK3級に合格した受験生は中国語を使用し、生活、学習、仕事などにおける基本的なコミュニケーションを取ることができ、中国へ旅行に行く場合、ほとんどの場合は中国語でコミュニケーションを取ることもできる。

1) 試験対象

HSK3級は主に週に2~3時間のペースで中国語を1年半学習し、600個の常用語彙やそれに関連する文法力を持っている学習者を対象としている。

2) 試験内容

HSK3級は合計80問、リスニング・読解・記述の3つのパートに分かれている。

	試験分類	試験内容	問題数		試験時間	満点	
一	听力 (リスニング)	第一部分	10問	35問	約35分	100点	
		第二部分	10問				
		第三部分	10問				
		第四部分	10問				
二	阅读 (読解)	第一部分	10問	25問	25分	100点	
		第二部分	10問				
		第三部分	10問				
三	书写 (記述)	第一部分	5問	15分			
		第二部分	5問				
受験番号&パスワード入力				10分			
合計		80問		約85分	300点		

試験時間は約90分間(受験生が個人情報を入力する時間を含む)

① 听力 (リスニング)

第一部分は合計10問。問題の音声は2回ずつ流れる。各問題は全て短いフレーズで、パソコン画面には数枚の絵や写真が用意される。受験者は問題の内容を聞いて絵や写真の内容と一致するかを判断する。

第二部分は合計10問。問題の音声は2回ずつ流れる。各問題はまず1人が話をし、もう1人がその話をもとに1つの文を言う。パソコン画面にはその文が書いてある。受験生は音声に基づき、

その文が正しいかを判断する。

第三部分は合計 10 問。問題の音声は 2 回ずつ流れる。各問題は 2 人による短い会話で、第三者が会話の内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問に対する回答が 3 つ書いてあり、受験生は質問の内容に最も合う回答を選択する。

第四部分は合計 10 問。問題の音声は 2 回ずつ流れる。各問題は 2 人によるやや長い会話で、第三者が会話の内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問に対する回答が 3 つ書いており、受験生は質問の内容に最も合う回答を選択する。

② 閱读（読解）

第一部分は合計 10 問。20 の文が提示され、相互にペアとなる文を選択する。

第二部分は合計 10 問。各問題には 1 つあるいは 2 つの文が提示され、文中に空所が 1 つあり、選択肢の中から最も適切な語句を選び、空所を補充する。

第三部分は合計 10 問。各問題には 1 つの文と 1 つの質問があり、3 枝選択の中から最も適切なものを選択する。

③ 书写（記述）

第一部分は合計 5 問。各問題には中国語の単語が用意されており、語順を並べ替えて正しい文を作る。

第二部分は合計 5 問。各問題の文の中には空所が 1 つあり、ピンインが書いてある。前後の文脈に合う漢字を入力する。

3) 成績について

HSK 3 級の成績はリスニング、読解、記述の 3 つのパートに分かれている、それぞれは 100 点満点で、合計得点が 180 点に達したら、試験合格となる。

HSK 3 級の成績認定書は長期有効である。中国の大学に留学する場合、中国語能力検定証書として認められ、試験後 2 年間有効である（試験日から数える）。

2. HSK 試験 4 級

HSK 4 級は、受験生の中国語の応用力を確かめるものであり、「国际汉语能力标准」4 級、「ヨーロッパ言語共通参考標準 (CEF)」B2 級のレベルに相当する。HSK 4 級に合格した受験生は、中国語で広い範囲にわたる話題についてのコミュニケーションを取ることができ、中国語を母国語とする人と比較的にスムーズに交流できる。

1) 試験対象

HSK 4 級は主に週に 2 ~ 4 時間のペースで中国語を 2 年間学習し、1,200 個の常用語彙を習得した学習者を対象としている。

2) 試験内容

HSK 4 級は合計 100 問、リスニング・筆記・記述の 3 つのパートに分かれている。

① 听力（リスニング）

第一部分は合計 10 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 1 人が短い話をし、もう 1 人がそれについて 1 つの文を言う。その文はパソコン画面に書かれている。受験者はその文が正しいかどうかを判断する。

第二部分は合計 15 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 2 人による会話で、第三者が会話の

試験分類	試験内容	問題数		試験時間	満点
一 听力 (リスニング)	第一部分	10 問	45 問	約 30 分	100 点
	第二部分	10 問			
	第三部分	10 問			
	第四部分	10 問			
二 閲讀 (読解)	第一部分	10 問	40 問	35 分	100 点
	第二部分	10 問			
	第三部分	10 問			
三 书写 (記述)	第一部分	5 問	15 問	25 分	100 点
	第二部分	5 問			
受験番号&パスワード入力				10 分	
合計		100 問		約 100 分	300 点

試験時間は約 105 分間(受験生が個人情報を入力する時間を含む)

内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問の回答として 4 肢選択が用意されている。受験生は質問に最も合う回答を選択する。

第三部分は合計 20 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 4 ~ 5 個の文による会話あるいは短い話で、その内容について 1 つまたは 2 つの質問が出る。パソコン画面には質問の回答として 4 肢選択が用意されており、受験生は質問に最も合う回答を選択する。

② 閲讀 (読解)

第一部分は合計 10 問。各問題には 1 つか 2 つの文があり、文の中に空所が 1 つある。受験生は用意されている選択肢から、適切なものを 1 つ選んで空所を補充する。

第二部分は合計 10 問。各問題には 3 つの文があり、文の内容に基づき、与えられた 3 つの文を正しい語順に並べ替える。

第三部分は合計 20 問。各問題には 1 つの文と 1 つまたは 2 つの質問があり、受験者は 4 肢選択から正しい回答を選択する。

③ 书写 (記述)

第一部分は合計 10 問。各問題にはいくつかの中国語の単語が用意されている。その単語を使用し、正しい中国語の文を作る。

第二部分は合計 5 問。各問題には一枚の絵または写真と 1 つの単語があり、受験生は与えられた単語を使用し、絵または写真の内容を 1 つの文で表現する。

3) 成績について

HSK 4 級の成績はリスニング、筆記、書写の得点 3 つのパートに分かれていって、それぞれは 100 満点で、合計得点が 180 点に達したら、試験合格となる。

HSK 4 級の成績は長期間有効である。中国の大学に留学する場合、中国語能力認定書として認められ、試験後 2 年間有効である（試験日から数える）。

三. HSK ネット試験システムについて

HSK ネット試験システムは、申し込みシステム、受験料入金管理システム、試験管理システム、本番試験システム、試験監視システム及び模擬試験システムからなる。この節では本番試験システムと模擬試験システムについて、詳しく紹介する。

1. HSK ネット試験申込システム

HSK ネット試験の申込はすべてインターネットで行う。

受験生は中国側の「漢語考試服務網」サイトと日本側の「日建学院 HSK」サイトのどちらからでも申し込むことができる。

中国側 URL : <http://www.chinesetest.cn/goliuchengtu.do>

日本側 URL :

<http://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/hsk/about/info.aspx>



2. HSK ネット試験管理システム

受験生の申し込み情報を試験管理システムに登録、受験生情報の確認、受験料入金及び試験会場の手配などの管理を行う。



3. 受験料支払と入金管理システム

中国のサイトまたは日本のサイトから申し込みをしても、試験管理システムを通して、日建学院の入金管理システムに登録され、自動的に入金案内のメールが送られる。受験生は入金システムの案内によりクレジットカードで支払うか、コンビニで支払うか選択できる。

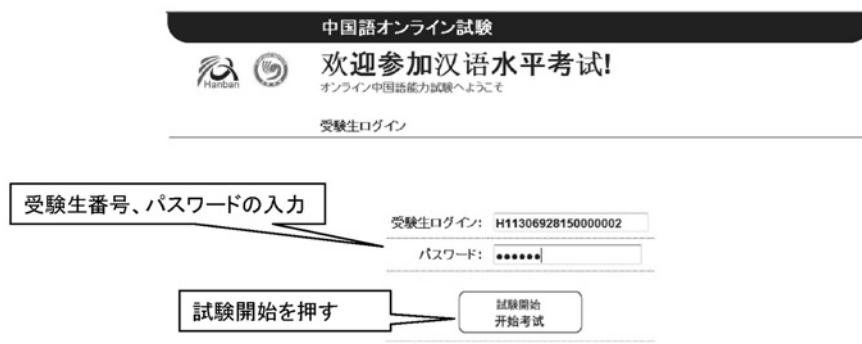
入金完了の確認が出来ると、受験生本人に、受験情報、試験会場の最終確認と模擬試験練習情報の送付などを行う。

4. HSK ネット試験システム

1) 受験生番号とパスワードの入力

本番試験の場合、級別を問わず、最初の入力画面は以下の通りになる。

受験生番号とパスワードを入力して、試験開始を押す。



HSK ネット（汉语水平考试 Hanyu Shuiping Kaoshi (IBT)）試験について

受験生の個人情報と受験情報が表示され、本人確認をする。
間違いなければ、試験開始ボタンを押し本番試験が開始される。



2) リスニング画面

HSK ネット試験各級の第一部はすべてリスニングの問題である。

リスニング問題はすべてマウスを押して、選択する問題である。

次にリスニング問題の一部を例として挙げる。

The image shows a sample of the HSK Listening Test interface. At the top, it says 'HSK三级' and '听力' (Listening). It states '时间约35分钟, 4部分, 40题' (Time about 35 minutes, 4 parts, 40 questions). On the left, a sidebar shows '第1部分' with a list of questions: 第1题 (checkbox), 第2题 (checkbox), 第3题 (checkbox), 第4题 (checkbox), 第5题 (checkbox), 第6题 (checkbox), 第7题 (checkbox), 第8题 (checkbox), 第9题 (checkbox). Below this, it says '3級のリスニング問題。会話の内容を聞いて、5つの絵から正しい回答を選択する。' (HSK Level 3 Listening Test. Listen to the conversation and choose the correct answer from the 5 drawings). The main area shows '第1 - 5题:' with 5 questions, each with 6 options (A-F) and a corresponding image. The first question is: '男: 嗨, 请问经理在吗? 女: 他正在开会, 快半个小时以后再打, 好吗?' (Male: Hi, may I ask where the manager is? Female: He is in a meeting, please call back in half an hour, okay?). The other questions show various scenarios like a woman trying on pants, a man talking on a phone, and a man petting a dog.

3) 読解問題画面



HSK三级
阅读
时间30分钟, 3部分, 30题。
第41题: 请选择 ▶

★ 给你帽子，外面风刮得很大，别感冒了。

A. 现在已经是晚上了吗？外面怎么那么黑？
 B. 我下班会经过那里，要不要我明天帮你请回来？
 C. 大城市里一缺机会比较多。
 D. 不用了，不冷，我一会儿就回来。
 E. 当然，我们先坐公共汽车，然后换地铁。
 F. 哟哟，我那件蓝色的衬衫呢？

3級の読解問題。
出された会話の
内容に対して、下
の A~F まで、一
つだけ会話とあう
回答を選択する。

HSK ネット試験の級別を問わず読解問題がある。出された文章を読んで、正しい回答を選択する。

全て、マウスによる選択問題である。

4) 記述画面

HSK 3 級の記述問題画面



HSK三级
书写
时间15分钟, 2部分, 10题。
第72题: 完成句子 ▶

大熊猫 这只 可爱 很

全拼输入法 中文 英文 全角 更正(訂正): 左箭头 (← ボタン)

选择输入法: 全拼(简体) Quan Pin (简体中文語)
输入方法を選擇してください。 传统(繁体) MS Shuang Pin (繁体中文語) 五笔(简体) Wu Bi (简体中文語) 仓颉(简体) Cang Ji (简体中文語) 注音(简体) Zhi Yin (简体中文語)
 全拼(繁体) Quan Pin (繁体中文語) 传统(简体) MS Shuang Pin (简体中文語) 五笔(繁体) Wu Bi (繁体中文語) 仓颉(繁体) Cang Ji (繁体中文語) 注音(繁体) Zhi Yin (繁体中文語)

3級の記述問題。
語句の並べ替え
問題である

HSK 4 級の記述問題画面（HSK 4 級のリスニングと読解画面は省略）

4級の記述問題。
表示された語彙を
使用して、文を作
る。

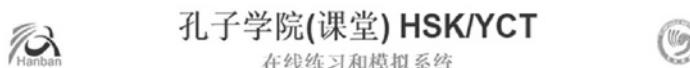
HSK ネット試験は 3 級以上の場合、記述問題が出される。記述問題はすべて中国語文字のピンイン入力となる。(ピンイン入力の苦手な受験生が事前希望した場合は、回答用紙(記述問題専用)を配布し、筆記で回答してもらうことも可能である)

4. 模擬試験システム

HSK ネット試験の模擬試験システムは本番試験システムと同様な環境である。受験生は模擬試験用 ID とパスワードをもらえば、自宅で練習ができる。

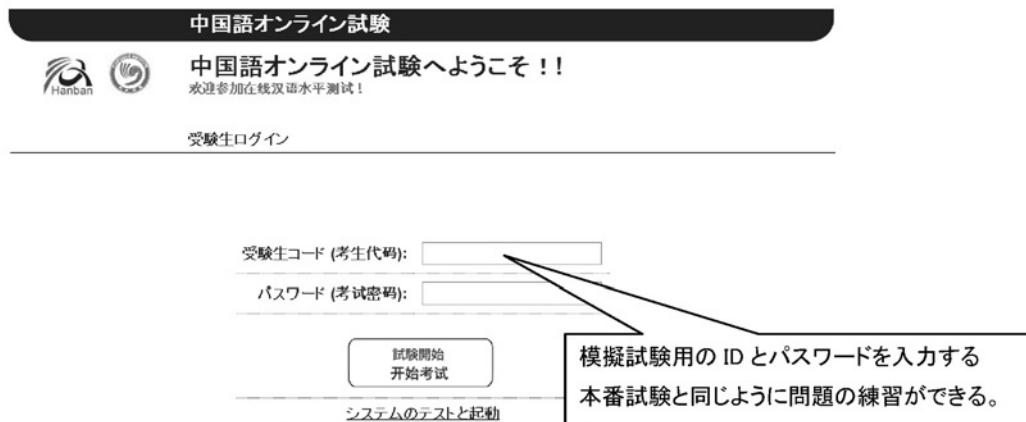
教師は生徒のレベルにより、模擬試験用 ID とパスワードを作って渡したり、模擬試験の成績をチャックしたりして、生徒達の学習進み具合は把握ができる。

1) 模擬試験練習



新中心申请点此进入!

生徒はここから入って、次の画面へ



模擬試験の問題集を一回で最後まで完成したら、「実行済」となるので、二度とこの問題の練習はできなくなる。もう一度練習したい場合は、別の ID とパスワードで練習ができる。

模擬試験の練習問題を途中でやめると新たに立ち上げた時には継続して練習ができる。

2) 模擬試験の採点に関して

- ① 模擬試験システム自動採点
- ② 記述問題と作文問題を先生からの採点となる。



HSK ネット (汉语水平考试Hanyu Shuiping Kaoshi (IBT)) 試験について

[返回首页](#) [退出系统](#)

[首页 > 按学生评分](#)

搜索条件:

测试类型:

测试级别:

测试版本:

请选择测试日期: 至:

搜索: (学生姓名, 测试版本等等)

[显示结果](#)

学生名单:

StudentID	Last Name	First Name	Listening	Reading	Writing	Speaking	Total	Test Name	Test Time
直译 C1S1351R4108	example	example	20 (1/5)	40 (2/5)			60	HSK练习 (一级) 精简版 版本A	9/26/2011 1:20:53 PM

「詳細」を押して、各問題の答案を見る

選択肢問題模擬試験システム自動的に採点される

考试编码: HSK729
 考生姓名: example example
 考试名称: HSK练习 (一级) 精简版 版本A
 考试日期: 9/26/2011 1:20:53 PM

考试答题结果: All Questions

Skills	Section	Question ID	Answer Status	User Answer	Score		
听力	A	1	Sample			正确	重置
听力	A	2	Skipped		Incorrect (0/1)	正确	重置
听力	B	3	Sample			正确	重置
听力	B	4	Answered	B	Correct (1/1)	正确	重置
听力	C	5	Sample			正确	重置
听力	C	6	Answered	D	Incorrect (0/1)	正确	重置
听力	C	7	Answered	B	Incorrect (0/1)	正确	重置

Question

老师画好了很快地熊猫的耳朵

Student Answer

Grading

Score: of 1

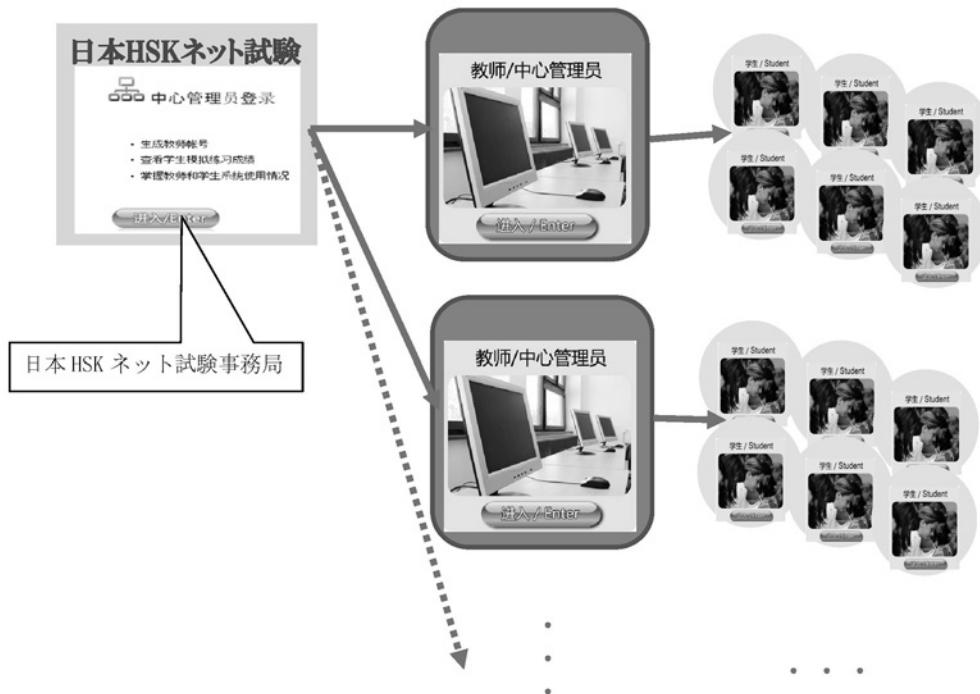
Comment:

記述問題を先生から採点する

先生からのコメント記入欄がある

[提交](#) [返回](#)

3) 模擬試験システムの管理構成



四. 中国語検定と HSK ネット試験の相違

最後に中国語検定と HSK ネット試験の相違について簡単に説明する。中国語検定は日本中国語検定協会が主催する検定試験の通称であり、略称は中検である。日本国内において中国語能力を図る指標として、使われることが多い。しかし、この資格の適用地域は日本国内のみで、国際的な知名度が低い。これに対して HSK は冒頭に述べた通りに中国国家漢語水平考試委員会(教育部)が主催し、中国政府公認の公的資格である。また世界共通基準の検定試験なので、世界各国において、中国語力の証明として通用する。また当委員会が発行した中国語能力認定書は中国に留学、就職の際に必要不可欠な認定書であり、また、国際的に公的に認められる認定書でもある。今現在 HSK は日本国内で大学編入、就職や昇進に有利な資格であり、企業でも続々採用される。級の種類について、中国語検定は HSK と異なり、級の数字が高ければ、ランクが低いことに対して、HSK は級の数字が高ければ、ランクも高いところにある。検定内容の相違が下記の対照表による。

中国語検定と HSK ネット試験の対照表

中国語検定試験	HSK 試験	
準 4 級	中国語学習の準備完了 学習を進めていく上での基礎的知識を身につけること。学習時間 60~120 時間。大学の第二外国語における第一年度前期修了、高等学校における第一年度通年履修、中国語専門学校・講習会等において半年以上の学習程度。 基本語彙約 500 語（簡体字を正しく書けること）、ピンイン（表音ローマ字）の読み方と綴り方、単文の基本文型、簡単な日常挨拶語約 50~80 が習得できる。	
	1 級 基本的な発音や関連知識の習得 非常に簡単な日常用語やセントラスを理解し、簡単なコミュニケーションを取ることができる。 学習時間は主に週に 2~4 時間のペースで中国語を半年間学習し、150 個の最も常用される語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。	
4 級	中国語の基礎をマスター 平易な中国語を聞き、話すことができること。 (学習時間 120~200 時間。大学の第二外国語における第一年度履修程度。) 語彙の意味の理解、漢字のピンイン（表音ローマ字）への表記変換、ピンインの漢字への表記変換、常用語 500~1,000 による中国語単文の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。	2 級 基礎的文法知識の習得 自分の熟知している日常の話題について簡単かつ速やかにやりとりができる。 HSK 2 級は主に週 2~4 時間のペースで中国語を一年間学習し、300 個の最も常用される語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。
	3 級 自力で応用力を養うる能力の保証(一般的な事項のマスター) 基本的な文章を読み、書くことができること、簡単な日常会話がされること。(学習時間 200~300 時間。大学の第二外国語における第二年度履修程度。) 語彙の意味の理解、漢字のピンイン（表音ローマ字）への表記変換、ピンインの漢字への表記変換、常用語 1,000~2,000 による中国語複文の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。	3 級 中国語で生活、学習、仕事などにおける基本的なコミュニケーションを取ることができる 中国語を使用し、生活、学習、仕事などにおける基本的な日常的なコミュニケーションを取ることができ、中国へ旅行する際に、ほとんどの場合中国語で対応することができる。 HSK 3 級は主に週に 2~3 時間のペースで中国語を 1 年半学習し、600 個の基礎常用語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。
2 級	実務能力の基礎づくり完成の保証 複文を含むやや高度の中国語の文章を読み、3 級程度の文章を書くことができること。 日常的な話題での会話が行えること。 単語・熟語・慣用句の日本語訳・中国語訳、多音語・軽声の問題、語句の用法の誤り指摘、100~300 字程度の文章の日本語訳・中国語訳ができる。	4 級 中国語を使って広い範囲にわたる話題についてコミュニケーションができる 中国語を使用し、広い範囲にわたる話題についてコミュニケーションができ、中国語を母国語とする人と比較的スムーズに交流できる。 HSK 4 級は主に週に 2~4 時間のペースで中国語を 2 年間学習し、1,200 個の常用語彙を習得した学習者を対象としている。
	実務に即従事しうる能力の保証(一般的な事項のマスター) 社会生活に必要な中国語を基本的に習得し、通常の文章の中国語訳・日本語訳、簡単な通訳がされること。 新聞・雑誌・文学作品・実用文等やや難度の高い文章の日本語訳・中国語訳。	5 級 中国語の新聞や雑誌が閲覧し、映画やテレビ番組を鑑賞できる 中国語の新聞や雑誌が読め、映画やテレビ番組を楽しむことができ、中国語を使用し、完全なスピーチができる。 HSK 5 級は主に週に 2~4 時間のペースで中国語を 2 年以上学習し、2,500 個の常用単語を習得した学習者を対象としている。
1 級	高いレベルで中国語を駆使しうる能力の保証 高度な読解力・表現力を有し、複雑な中国語及び日本語（例えは挨拶・講演・会議・会談など）の翻訳・通訳がされること。 (1 次) 時事用語も含む難易度の高い文章の日本語訳・中国語訳。熟語・慣用句等を含む総合問題ができる。 (2 次) 中国人との会話及び通訳ができる。	6 級 中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解できる 中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解でき、中国語を使用し、自らの意見をスムーズに表現できる。 HSK 6 級は、主に 5,000 語以上の常用単語を習得した学習者を対象としている。

上記の対照表に、中国語検定と HSK 試験の対照一覧表に各級に対する学習時間数、単語数及び学習ポイントを纏めた。中国語検定は基礎的な言語教育を重視していることに対し、HSK 試験は実務的な応用力及びコミュニケーション力を重視する。